



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 山口 正信

TEL (06) 6343 - 2600

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	12,841	9.0	325	-	317	-	△213	-
22年12月期第2四半期	11,784	3.4	△1,016	-	△1,047	-	△948	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年12月期第2四半期	△12	43	-	-
22年12月期第2四半期	△55	23	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年12月期第2四半期	20,259		12,186		58.6		690	84
22年12月期	21,660		12,691		57.5		725	55

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 11,868百万円 22年12月期 12,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年12月期	-	-	0	00	-	-	25	00	25	00
23年12月期	-	-	0	00	-	-	-	-	-	-
23年12月期（予想）	-	-	-	-	-	-	25	00	25	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	33,000	0.5	6,050	26.5	6,000	29.0	2,430	101.5	141	45

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

新規 ー社 除外 ー社

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 2 Q	17,185,650株	22年12月期	17,185,650株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

23年12月期 2 Q	6,258株	22年12月期	6,238株
-------------	--------	---------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年12月期 2 Q	17,179,401株	22年12月期 2 Q	17,179,538株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(第2四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 .....	9
(6) 表示方法の変更 .....	9
(7) セグメント情報 .....	10
(8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国への輸出の増加や政府の経済対策などを背景に、景況感は緩やかに持ち直してきたものの、3月11日に発生した東日本大震災の影響による生産活動の低迷や、原子力発電所事故による電力不足の長期化により、国内景気、個人消費とも、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、主力であるこども写真事業において、競合他社と明確な差別化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,841百万円（前年同期比9.0%の増加）、営業利益は325百万円（前年同四半期連結累計期間においては、1,016百万円の営業損失）、経常利益は317百万円（前年同四半期連結累計期間においては、1,047百万円の経常損失）、四半期純損失は213百万円（対前年同期735百万円の損失減少）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (こども写真事業)

こども写真事業は、当社ブランドの核である「確かな品質」の向上を図るため、社内研修機関であるスタジオアリス・アカデミーにおいて、選択プログラム制の新たな社内教育システムを開始いたしました。また、撮影用こども衣装では、ベッキーデザインの「Becky's style」や「凜趣」、「Bon reve!」などの当社独自のオリジナルブランド衣装等を導入し、新商品開発では、5月12日から開始する早撮り七五三キャンペーンの開始にあわせ、七五三専用の「マイフォトコレクションスマイル」（デザインアルバム）を導入するなど、他社との差別化を進めました。

営業面においては、営業の平準化を目的とした「Happy Birthday 七五三」の一層の推進に加え、5月12日から「早撮り七五三キャンペーン」、並びに、お客様に分かりやすいお出かけ日毎の価格設定に改めた「七五三お出かけ着物レンタル」を開始いたしました。これらの取り組みにより、フランチャイズ店舗を含む全店の七五三撮影件数は、前年同期比で39.5%の増加となりました。

国内の出店状況は、移転4店舗を含み7店舗を出店し、次世代型への改装は44店舗実施いたしました。一方退店は、移転による4店舗を含み5店舗となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館402店舗（直営店舗392店・フランチャイズ店舗10店）、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館4店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館2店舗、および、同合弁会社の運営による中国のこども写真館2店舗を含め、411店舗となっております。

以上の結果、こども写真事業の売上高は12,298百万円、セグメント利益は291百万円となりました。

## (衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、フィギュアスケーターであります浅田真央選手の初めてのオリジナルブランドとなる「Mao Mao」ブランドの浴衣を生産、販売するとともに、主力であるこども写真事業向け衣装の企画、生産をおこないました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,464百万円、セグメント利益は150百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,401百万円減少し20,259百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金等の減少により、前連結会計年度末と比べ1,674百万円減少の8,830百万円となりました。

固定資産は有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ273百万円増加の11,428百万円となりました。

## (負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ896百万円減少し8,072百万円となりました。

流動負債は未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,349百万円減少の6,657百万円となりました。

固定負債は資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ452百万円増加の1,414百万円となりました。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ504百万円減少し12,186百万円となりました。

これは主に、当第2四半期連結累計期間純利益(損失)及び前年度の剰余金の処分(配当金支払い)などによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,538百万円減少し、4,974百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、主に減価償却費1,213百万円、税金等調整前四半期純損失133百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べ425百万円減少し、431百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出1,491百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べ253百万円減少し、1,421百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、主に短期借入金の増加額336百万円、セール・アンド・リースバックによる収入961百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べ1,238百万円減少し、190百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向や経営環境等を踏まえて見直しを行った結果、平成23年2月9日に公表した業績予想を修正しております。

詳細は平成23年8月9日付で別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

詳細は、添付資料P.9「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」及び「表示方法の変更」をご覧ください。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,368,989	6,907,339
受取手形及び売掛金	994,332	1,085,193
商品及び製品	158,816	95,176
仕掛品	33,567	56,002
原材料及び貯蔵品	710,704	592,322
繰延税金資産	508,409	494,195
その他	1,114,490	1,336,594
貸倒引当金	△59,210	△62,200
流動資産合計	8,830,099	10,504,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,609,348	7,464,710
減価償却累計額	△3,698,617	△3,754,096
建物及び構築物(純額)	3,910,730	3,710,614
機械装置及び運搬具	778,667	774,193
減価償却累計額	△610,421	△600,698
機械装置及び運搬具(純額)	168,245	173,495
工具、器具及び備品	3,884,903	3,611,938
減価償却累計額	△2,768,749	△2,897,494
工具、器具及び備品(純額)	1,116,154	714,444
土地	650,076	650,076
リース資産	2,087,351	2,449,566
減価償却累計額	△1,144,041	△1,166,329
リース資産(純額)	943,309	1,283,237
建設仮勘定	987	5,527
有形固定資産合計	6,789,505	6,537,395
無形固定資産		
のれん	80,165	92,545
その他	496,731	510,001
無形固定資産合計	576,897	602,547
投資その他の資産		
投資有価証券	35,191	57,418
長期貸付金	200,000	200,000
繰延税金資産	1,057,749	983,115
敷金及び保証金	2,890,920	2,891,907
その他	12,613	12,338
貸倒引当金	△133,900	△128,900
投資その他の資産合計	4,062,575	4,015,880
固定資産合計	11,428,977	11,155,823
資産合計	20,259,077	21,660,448

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	333,674	435,555
短期借入金	2,150,000	1,813,600
1年内返済予定の長期借入金	73,332	—
未払法人税等	176,441	1,433,842
リース債務	1,093,376	1,129,220
事業整理損失引当金	84,994	460,000
賞与引当金	3,253	9,288
未払費用	964,921	1,208,635
その他	1,777,779	1,516,924
流動負債合計	6,657,772	8,007,067
固定負債		
退職給付引当金	371,205	353,593
長期借入金	73,336	—
リース債務	467,431	521,850
資産除去債務	365,101	—
その他	137,318	86,175
固定負債合計	1,414,393	961,619
負債合計	8,072,166	8,968,687
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	8,030,538	8,631,841
自己株式	△9,222	△9,206
株主資本合計	11,962,714	12,564,034
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△133
為替換算調整勘定	△94,453	△99,429
評価・換算差額等合計	△94,453	△99,563
少数株主持分	318,650	227,290
純資産合計	12,186,911	12,691,761
負債純資産合計	20,259,077	21,660,448

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	11,784,129	12,841,973
売上原価	9,404,476	9,578,607
売上総利益	2,379,653	3,263,365
販売費及び一般管理費	3,395,917	2,938,259
営業利益又は営業損失(△)	△1,016,264	325,106
営業外収益		
受取利息	2,070	1,699
受取家賃	17,573	16,229
受取手数料	6,813	—
雑収入	12,324	31,220
営業外収益合計	38,781	49,150
営業外費用		
支払利息	26,941	19,392
賃貸費用	5,971	—
店舗解約損	21,987	13,787
為替差損	10,395	6,143
雑損失	4,801	17,767
営業外費用合計	70,098	57,090
経常利益又は経常損失(△)	△1,047,582	317,166
特別利益		
固定資産売却益	—	10,490
特別利益合計	—	10,490
特別損失		
固定資産廃棄損	145,796	121,397
減損損失	195,253	24,972
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	249,231
災害による損失	—	65,141
特別損失合計	341,050	460,743
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,388,632	△133,086
法人税、住民税及び事業税	218,583	125,054
法人税等調整額	△679,742	△102,499
法人税等合計	△461,158	22,555
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△155,641
少数株主利益	21,353	57,856
四半期純損失(△)	△948,826	△213,498



(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,905,689	7,470,561
売上原価	5,007,914	5,148,864
売上総利益	1,897,774	2,321,696
販売費及び一般管理費	1,983,539	1,611,296
営業利益又は営業損失(△)	△85,764	710,400
営業外収益		
受取利息	968	791
受取家賃	9,183	8,086
為替差益	—	2,334
受取補償金	—	9,139
受取手数料	1,775	—
雑収入	8,712	14,463
営業外収益合計	20,638	34,816
営業外費用		
支払利息	15,923	10,064
貸貸費用	890	—
店舗解約損	20,114	4,219
為替差損	19,727	—
雑損失	651	12,267
営業外費用合計	57,308	26,551
経常利益又は経常損失(△)	△122,434	718,665
特別利益		
固定資産売却益	—	10,490
特別利益合計	—	10,490
特別損失		
固定資産廃棄損	91,745	79,033
減損損失	175,568	20,369
特別損失合計	267,313	99,402
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△389,748	629,753
法人税、住民税及び事業税	177,912	82,485
法人税等調整額	△292,038	207,615
法人税等合計	△114,125	290,100
少数株主損益調整前四半期純利益	—	339,652
少数株主利益	17,693	43,540
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△293,316	296,112

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,388,632	△133,086
減価償却費	1,015,904	1,213,736
のれん償却額	47,089	12,380
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,900	1,740
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,785	△6,163
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,519	17,611
受取利息	△2,070	△1,699
支払利息	26,941	19,392
為替差損益(△は益)	△3,982	2,893
有形固定資産廃棄損	124,156	118,907
減損損失	195,253	24,972
売上債権の増減額(△は増加)	△49,453	119,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,572	△171,182
仕入債務の増減額(△は減少)	95,677	△90,144
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△375,005
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	249,231
未払消費税等の増減額(△は減少)	△244,763	△235,822
その他の流動資産の増減額(△は増加)	176,247	129,642
その他の流動負債の増減額(△は減少)	60,252	63,583
その他	27,536	55,966
小計	11,219	1,016,442
利息の受取額	831	513
利息の支払額	△24,568	△19,392
法人税等の支払額	△844,435	△1,364,017
災害損失の支払額	—	△65,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	△856,952	△431,595
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,397,020	△1,355,385
無形固定資産の取得による支出	△85,893	△63,681
子会社株式の取得による支出	△35,000	—
差入保証金の差入による支出	△143,047	△72,212
差入保証金の回収による収入	42,597	61,153
その他	△56,256	8,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,674,620	△1,421,382
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,550,000	336,400
長期借入金の返済による支出	—	△36,666
セール・アンド・リースバックによる収入	698,842	961,776
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△389,996	△641,069
自己株式の取得による支出	△134	△16
配当金の支払額	△429,491	△429,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,429,220	190,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,210	△2,621
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,101,141	△1,664,659
現金及び現金同等物の期首残高	4,096,920	6,513,157
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	126,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,995,779	4,974,807

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、株式会社豊匠は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 3社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は19,126千円減少し、税金等調整前四半期純損失は257,003千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は359,689千円であります。</p>

## (6) 表示方法の変更

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
(四半期連結損益計算書)	
1. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示していません。	
2. 前第2四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「受取手数料」は、営業外収益の総額の100分の20以下となったため、当第2四半期連結累計期間より「雑収入」に含めて表示することに変更いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間の営業外収益の「雑収入」に含まれる「受取手数料」は、1,740千円であります。	
3. 前第2四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の20以下となったため、当第2四半期連結累計期間より「雑損失」に含めて表示することに変更いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間の営業外費用の「雑損失」に含まれる「賃貸費用」は、5,047千円であります。	

## (7) セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはサービス及び製品別のセグメントから構成されており、スタジオ写真の撮影・制作・加工、ディスプレイ制作、印刷等を行う「こども写真事業」、撮影用衣装等の制作・販売等を行う「衣装製造卸売事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	こども写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,298,830	543,143	12,841,973	—	12,841,973
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	921,552	921,552	△921,552	—
計	12,298,830	1,464,695	13,763,525	△921,552	12,841,973
セグメント利益	291,239	150,009	441,249	△116,142	325,106

(注) 1. セグメント利益調整額△116,142千円には、セグメント間取引に関わる調整額15,490千円、固定資産の調整額等△20,599千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△111,033千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。